

# フィリピンのジャングルでサウンド・ハンティング！ デジタルメディアアート・フェスティバル「WSK2014」レポート

2015.01.28

0 ツイート 0  
いいね! G+

11月7日から9日にかけてフィリピンのマニラで開催されたデジタルメディアアート・フェスティバル「WSK2014」。このフェスティバルは毎年開催されていて、今年で5年目。フィリピン、タイ、インドネシア、韓国、日本等、アジア各国からアーティストが参加しています。

イベントディレクターの1人、Tengal Drilon (テンガル・ドリロン)さんにどんなイベントか詳しく聞いてみました。

「このイベントは最新の音楽、映像、アートを発信するアーティストをアジアから集めたイベントです。実験的で新しい作品制作に挑戦しているアーティストを選んで、ゲストに迎えています。

このイベントの名前である『WSK』は、フィリピンの『wasak』という言葉の意味しています。これには「ぶち壊す」という意味があります。つまり、音楽やアートのジャンル、国境を壊して楽しむというのがテーマなのです。

他のイベントと少し違うのは、コンサートや映像の上演だけでなく、アーティストによるワークショップを開催することや、アーティストらにイベント当日より前に来てもらい、マニラ市内にあるアトリエで制作活動をしてもらうということです。このため、各地から集まったアーティスト同士のコラボレーションも生まれます」

## ・日本から参加した2人の音楽家

今回、国際交流基金アジアセンターのサポートで、日本の音楽家2人がこのイベントにゲスト参加しました。

まずは、国際的に活躍する日本人音楽家の2人のプロフィールをご紹介します。

### Daisuke Tanabe (ダイスケ・タナベ)

20代中頃に渡英、音楽の道へ。ラジオ番組<BBC Radio 1 Gilles Peterson Worldwide>では2006 All Winnersに選出。2009年にはClark(Warp)ジャパンツアーに抜擢、アンコールの喝采を浴びる。雨音や咳、タップダンスなど日常の音に着想を得て、その音感を素直にエレクトロニクスに反映。ピュアな音楽スタイルで好感を集めている。

### Yosi Horikawa (ヨシ・ホリカワ)

フランスのEklektik Records所属。環境音や日常にある物音など非音楽を録音・編集し、楽曲を構築していくスタイルで活動を展開中。2008年に発表されたデビュー曲"skipping"が発売直後に仏国営ラジオ局 Radio France (France Inter)にてピックアップされる。レッドブル・ミュージック・アカデミー(若く才能溢れるアーティストたちを支援する世界を旅する音楽学校)卒業生。

## ・日本人アーティストの2人にインタビュー

普段、日本では共同制作をすることは無いという2人は、今回、他のアーティストと同様、事前に現地入りしてフィリピンの音を探取し、音楽制作をするという試みに挑戦しました。

## ・フィリピンでの制作活動について

Yosi Horikawa

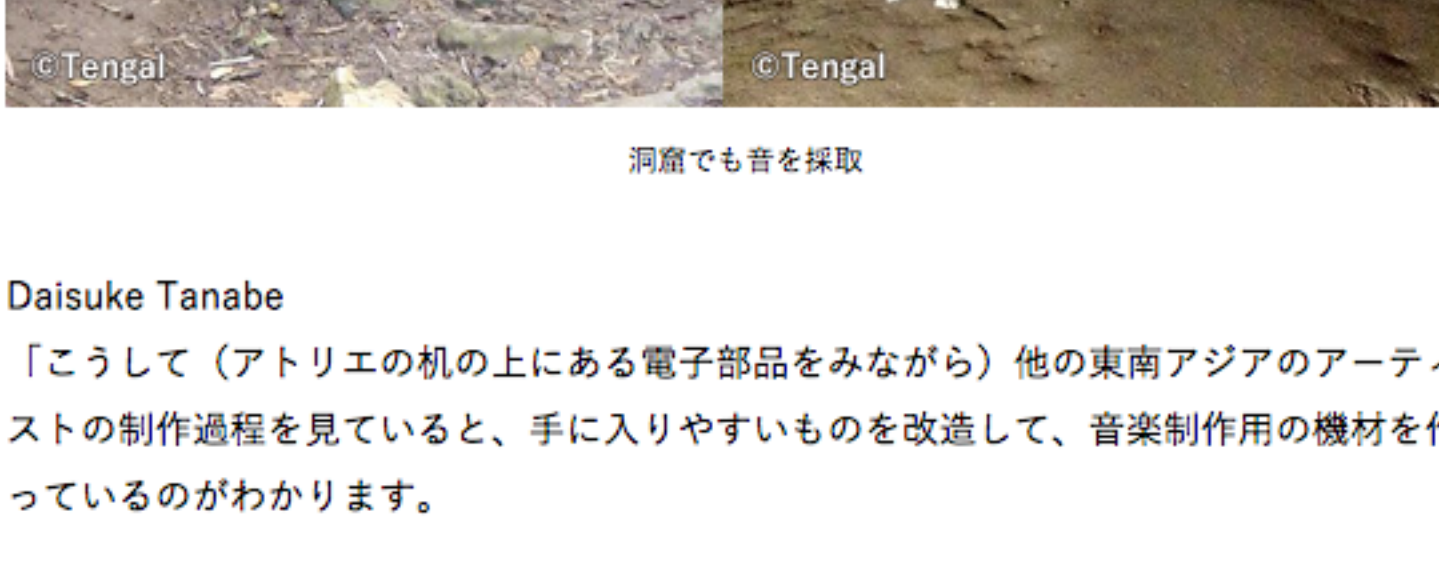
「現地スタッフとともにTanay (タナイ) というフィリピンのジャングルへ乗り込み、川の音や、生き物の鳴き声等の音を探取してきました。今マニラに戻って来て、今回のライブ用の音楽を制作中です。僕の音楽制作には静かな環境での集中が求められるので、アトリエでみんなと一緒にというのが難しく、コソコソとホテルの部屋で制作しています。作業は順調に進んでいて、皆を驚かせられる作品に仕上がつつあるので発表が楽しみです。一段落するとアトリエの様子を見に行くのですが、みんなビール片手に楽しく制作をやっています。すぐに飲もうと誘われるのでなかなかホテルに帰れなくなってしまいます(笑)」



ジャングルの川へ出発



真剣な眼差しで耳をすませるYosi Horikawa



洞窟でも音を探取

Daisuke Tanabe

「こうして(アトリエの机の上にある電子部品をみながら)他の東南アジアのアーティストの制作過程を見ていると、手に入りやすいものを改造して、音楽制作用の機材を作っているのがわかります。



Daisuke Tanabeと一緒に製作するアーティストたち

そもそも機材が高価で手に入りにくいことが理由のようです。ゼロから自分たちでつくる姿を見ていると刺激を受けますね。制約がある中で制作するパワーもすごいし、出来上がってくるものもオリジナリティーが溢れるものなんです」

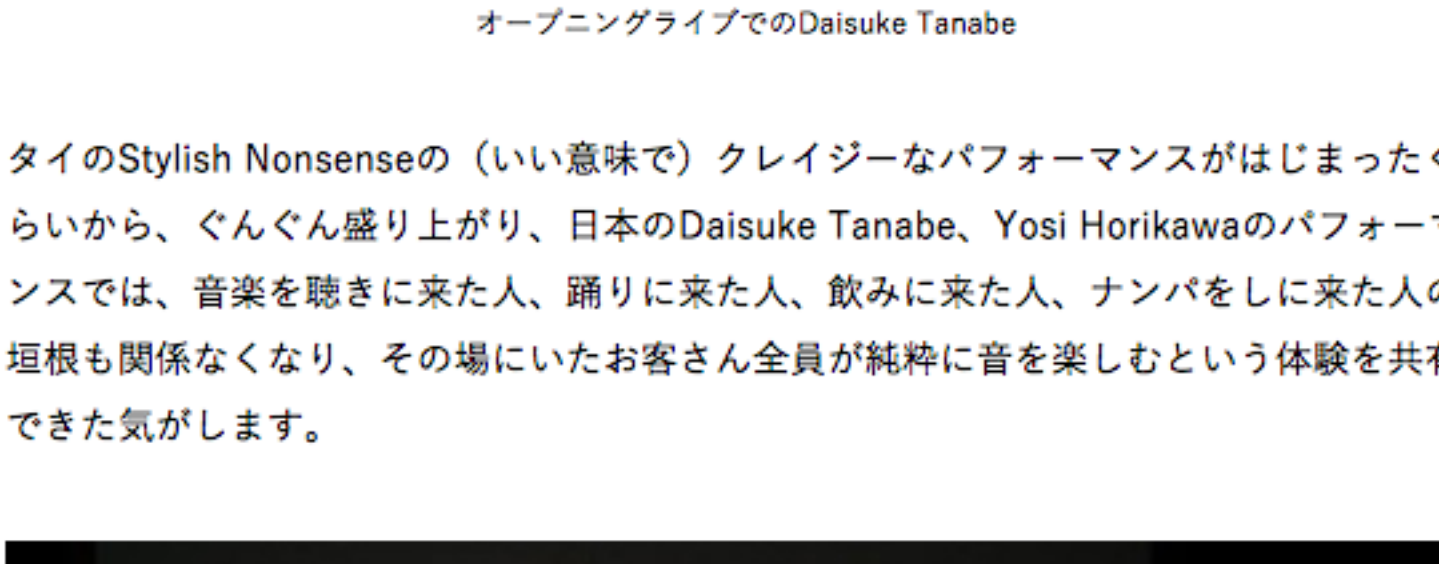
他のアーティストと違って、黙々と制作を続ける2人に、イベントディレクターのTengalさんはこうコメントしています。

「2人も本当に真面目に制作活動をしています。とても良い音楽が出来上がっているはず。彼らは素晴らしい音楽家だということを知っているので、とても期待しているんですよ」

## ・制作の成果やいかに!? ライブ本番の様子

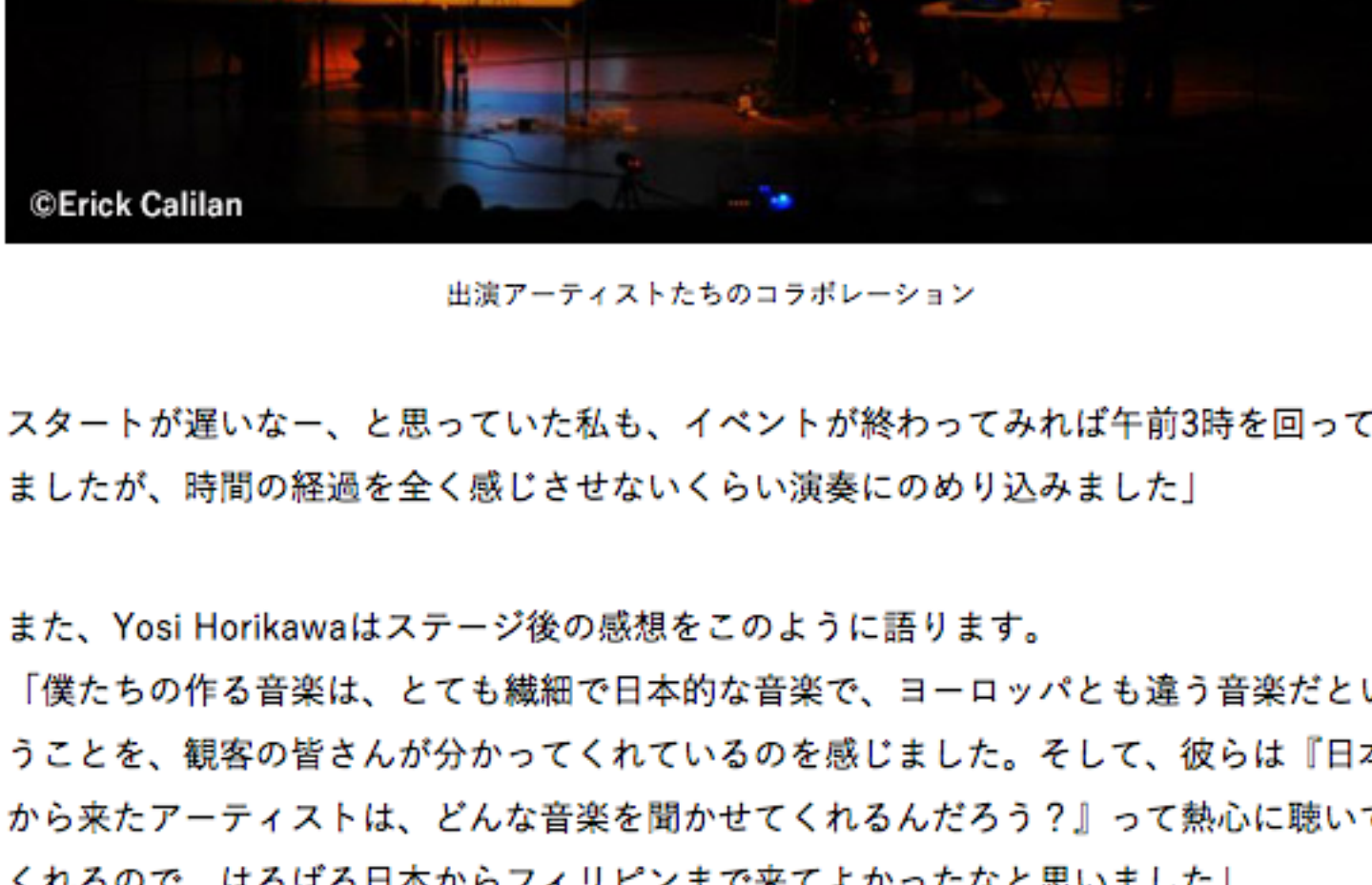
スケジュールの都合で当日参加できなかった私に代わり、本番の様子については、国際交流基金マニラ日本文化センターの三富副所長が以下のようにレポートしています。

「会場フロアにはこのイベントを目的に来た20代~30代の若いお客さんがいらっしゃいました。0時を過ぎたころからは、クラブの常連客も加わって、フロアはお客さんでいっぱいになりました。



オープニングライブでのDaisuke Tanabe

タイのStylish Nonsenseの(いい意味で)クレイジーなパフォーマンスがはじまったくらいから、ぐんぐん盛り上がり、日本のDaisuke Tanabe、Yosi Horikawaのパフォーマンスでは、音楽を聴きにきた人、踊りにきた人、飲みに来た人、ナンパをしに来た人の垣根も関係なくなり、その場にいたお客さん全員が純粋に音を楽しむという体験を共有できた気がします。

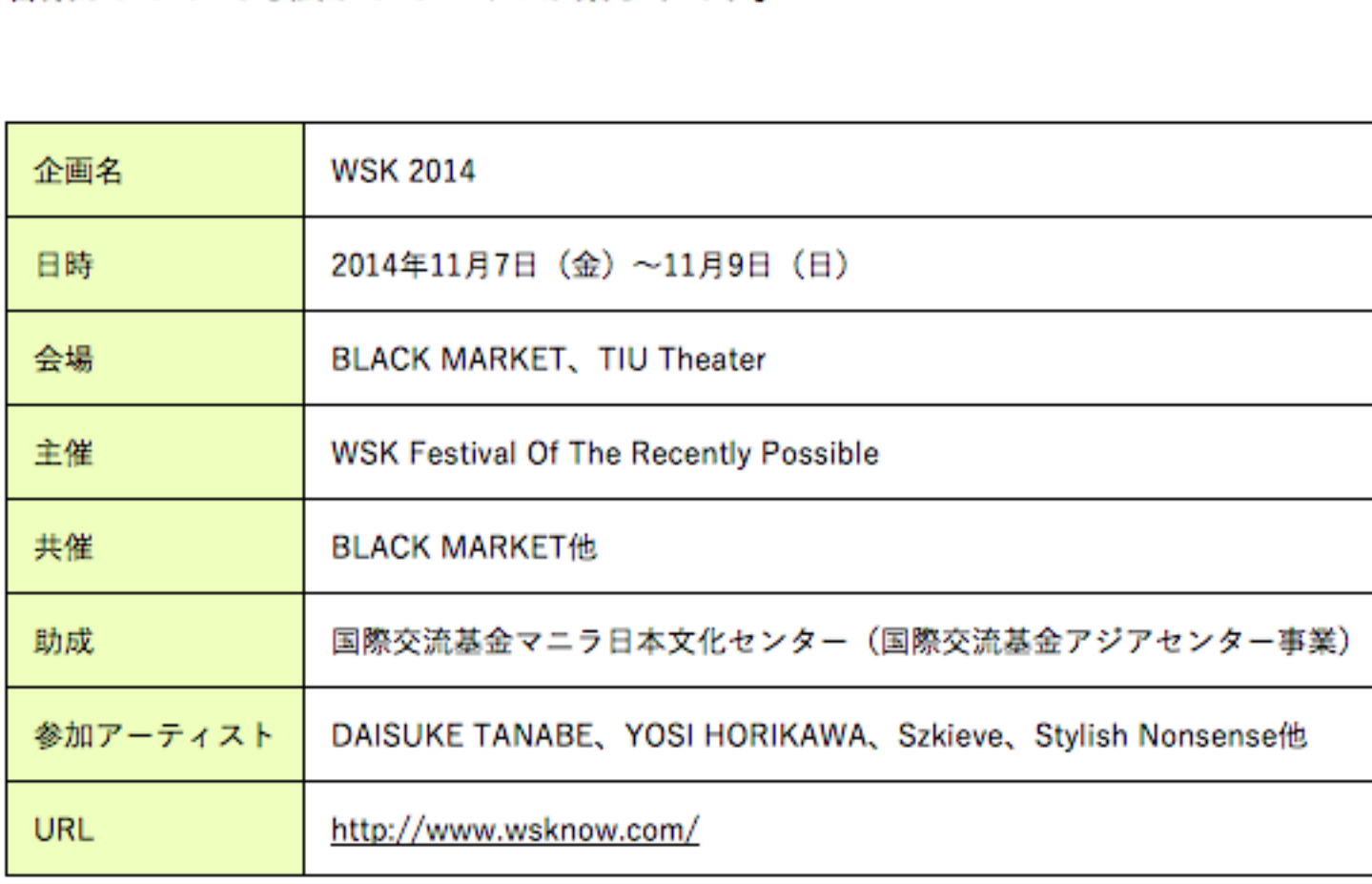


出演アーティストたちのコラボレーション

スタートが遅いなー、と思っていた私も、イベントが終わってみれば午前3時を回っていましたが、時間の経過を全く感じさせないくらい演奏にのめり込みました」

また、Yosi Horikawaはステージ後の感想をこのように語ります。

「僕たちの作る音楽は、とても繊細で日本的な音楽で、ヨーロッパとも違う音楽だということ、観客の皆さんが分かってくれているのを感じました。そして、彼らは『日本から来たアーティストは、どんな音楽を聞かせてくれるんだろう?』って熱心に聴いてくれるので、はるばる日本からフィリピンまで来てよかったなと思いました」



Yosi HorikawaとDaisuke Tanabeのコラボライブも実現

2人でコソコソと制作した新作が、フィリピンの観客たちにも響いたようです。このイベントだけでなく、どんどんアジアでも活動をしていきたいと語っていた2人。今後彼らの音楽がアジアでも広がっていくのが楽しみです。

企画名	WSK 2014
日時	2014年11月7日(金)~11月9日(日)
会場	BLACK MARKET, TIU Theater
主催	WSK Festival Of The Recently Possible
共催	BLACK MARKET他
助成	国際交流基金マニラ日本文化センター(国際交流基金アジアセンター事業)
参加アーティスト	DAISUKE TANABE, YOSI HORIKAWA, Skieve, Stylish Nonsense他
URL	<a href="http://www.wsknow.com/">http://www.wsknow.com/</a>

中村綾花：フランス・パリを拠点に活動するフリーライター。著書は、世界で婚活の旅をしながら恋愛・結婚事情をレポートした「世界婚活」(朝日出版)。有料コンテンツ・サイト「cakes」にてパリの本当の日常をレポートする「すっぽんぽんパリ」連載中。<https://cakes.mu/series/3055>

0 ツイート 0  
いいね! G+